

# 産業振興課の「平成29年度の運営方針と目標」

産業振興課長 佐久間 一幸

## 1 課の使命と役割

### ■課の使命・目標(箇条書き)

- ・復興工業団地の早期整備に努めるとともに、企業の誘致を強化します。
- ・中心市街地の再生・賑わいづくり事業を展開し地域活性化に努めます。
- ・風評被害の払拭と「開拓のまち・矢吹」のブランドイメージ構築に取り組みます。
- ・除染計画に基づく森林等の除染等、放射性物質対策に取り組みます。
- ・活気あふれ自立した農家を育成支援し持続可能な農業の推進を図ります。
- ・矢吹の持つ魅力を全国に発信し、定住・交流人口の増加に努めます。
- ・地域活性化の拠点として、道の駅整備事業の推進を図ります。

### ■課の役割

産業振興課は、農政係・商工係・まちPR係及び農業委員会事務局で構成され、①農商工の連携推進、②企業の振興育成、③商業の振興育成、④農業の振興育成、⑤農業経営基盤の強化推進、⑥情報発信の強化、⑦タウンプロモーションの展開、⑧農業委員会事務局業務を主な役割としております。

## 2 課の構成(平成29年4月1日現在)

■職員数	16人
・課長	1人
・副課長(兼農業委員会副局長含む)	2人
・農政係	6人
・商工係	2人
・まちPR係	5人

### 3 平成29年度の課の運営方針

産業振興課は、「第6次矢吹町まちづくり総合計画」に位置付けられた政策及び重点プロジェクト等を念頭に、昨年度に引き続き「企業誘致の推進」「産業の活性化」、「農商工の連携」、「タウンプロモーションの展開」を推し進めます。

福島第一原子力発電所の爆発事故に伴う放射性物質の飛散については、農地の除染や米の全袋検査等の放射性物質対策に徹底的に取り組み、一定の効果を上げているものの、風評被害は未だ払拭されておらず、地域経済に大きな影響を与えております。

このような中、平成29年度においても課の使命と目標に掲げた7項目に重点的に取り組み、震災からの復興・再生に努めてまいります。

商業及び観光については、中心市街地の活性化と商店街の復興・再生を重点課題として、矢吹ならではの特色と魅力を備えた復興を目指し、昨年度修復工事が完了し「中心市街地活性化推進施設」としてオープンした「大正ロマンの館」を最大限に活用し、地域の賑わいづくりに努めます。また、矢吹駅コミュニティホール内の「やぶき観光案内所」において、レンタサイクル事業はじめ様々な観光事業の推進に取り組めます。

工業等については、県が復興工業団地の候補地として選定している第二苗畑跡地の整備の早期事業化に向けて、県と連携協力し強く推し進めます。また企業誘致においても、町内外企業に積極的な営業活動を展開し、雇用の創出と地域経済の発展に努めます。

農業については、町の基幹産業である農業を再生するため、農作物への放射性物質の移行対策を徹底し、検査体制を充実すると共に、地域ブランドイメージ化の取り組みなど、原発事故以前以上の農業づくりを目指し風評被害対策にも正面から取り組みます。

また農業政策の目玉である「日本型直接支払制度」及び「農地中間管理機構の設立」の活用も重要な課題の一つであり、国により「新しい食糧、農業、農村政策の方向」が取りまとめられ、日本型直接支払制度として、農業の多面的機能の維持・発揮のため地域活動や営農活動支援事業に積極的な取り組みを進めるとともに、農地有効利用の継続、効率化による担い手への集積等を図る農地中間管理機構設立の方向とも連携を図り、担い手農家への支援を推進します。

森林の除染の実施については、「ふくしま森林再生事業」により、滝八幡・井戸尻・堰の上・大和内地区の森林において間伐、更新材、下刈り等を実施し放射性物質の低減と森林の環境整備を図ります。

道の駅事業については、昨年度策定した「（仮称）道の駅やぶき実施計画書」を基に、農業の魅力、地域の魅力を発信する地域活性化の拠点施設整備の実現に向けて取り組みます。

タウンプロモーション事業については、矢吹の持つ魅力を全国に発信するため、マスコミ・広報・ホームページ・SNS等あらゆる手段を使って情報を発信し、矢吹の認知度向上を図り、交流・定住人口の増加を図ります。

事業の実施に当たっては、「平成29年度における課の運営方針」を定め、主要事業及び主な事務事業ごとに目標を掲げ、それらの達成に努めてまいります。

1	定住促進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>今年度は、移住者向けパンフレットをより多くの人に見てもらえるように活用し、移住を検討している人が必要とする情報を入手できるようにします。 また、移住定住に関する相談に関して協力していただく団体との連携を深め、相談体制の充実を図ります。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<p>随時 移住者向けパンフレットの配布 随時 相談体制の整備</p>	<p>・随時 移住者向けパンフレットの配布</p>	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>移住定住に関する相談体制の整備、NPOとの連携を図ります。 移住定住に関する相談件数 10件</p>		

2	婚活支援事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>現在実施されている「ふれあいの場」創出事業を継続しつつ、町独自の婚活支援策についても検討を行います。 また、ホームページ等で情報発信を行い、ふくしま結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の登録者の増加や婚活イベント等の参加者の増加を図ります。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<p>随時 ふれあいの場創出事業イベント実施 随時 結婚セミナー実施 随時 町独自の婚活支援の検討、視察</p>	<p>随時 ふれあいの場創出事業イベント実施 随時 結婚セミナー実施 12月 町独自の婚活支援の企画</p>	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>積極的に情報発信を行うことにより、矢吹町からのふれあいの場創出事業の参加者の増加。目標20名。(H28参加者11名) 町独自の婚活支援を検討し、男女の出会いの場を創出します。</p>		

3	企業誘致促進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	地域経済の発展と産業活性化と合わせ町内雇用の拡大を図るため、町内外の企業等に対し町内誘致を積極的に働きかけます。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	4月～県等関係部署との協議 5月～企業に対する進出意向調査 7月～調査内容による誘致活動 9月 企業立地セミナー参加(東京都) 適時 立地適地への誘導斡旋 通年 企業訪問及び誘致活動	随時 県及び国との協議実施 随時 現地案内 4社以上 随時 企業訪問 30社以上	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	2件の新規誘致を目指します。		

4	県営工業団地整備支援事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	井戸尻地区「第2苗畑跡地」の県営工業団地整備に向けた県の調査にあわせ、周辺地域のインフラ整備等を進め、合わせて企業への誘致斡旋活動を行い、県営工業団地の整備実現を図ります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	随時 県等関係部署との協議 適時 立地適地への誘導斡旋	随時 県及び国との協議	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	国県及び関係機関等との協議を進め県営工業団地の整備を推進します。		

5	商業活性化対策推進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	空き地・空き店舗を解消し、地域経済の活性化をはかるため、賃貸料補助をはじめとした助成制度等を有効活用し、町内外の各種商店の誘導誘致を積極的に行います。なお、商工会との定期的な情報交換を行い連携を密にし、既存店舗の経営力強化も進めてまいります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月～空き地・空き店舗の現状及び所有者意向調査 毎月 商工関係団体との定期協議 5月 矢吹町空き店舗対策補助金制度の策定 通年 町内外各種商店誘致活動実施	毎月 適時 商工関係団体との協議 町内外の店舗訪問の実施	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	町内新規出店2件		

6	やぶきフロンティア祭り開催事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	第6次矢吹町まちづくり総合計画のキャッチフレーズ「未来を拓く日本三大開拓地」を踏まえ、開拓地のコンセプトのもと、町の農商工業者や関係団体が一丸となり町産業や町の魅力を内外に発信する一大イベントとして「やぶきフロンティア祭り」を開催します。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月 実行委員会役員会 5月 実行委員会総会 6月～7月 出店者募集 8月 実行委員会 9月10日 開催	10月 実行委員会(反省と来年度に向けた検証)	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	来場者数 16,000人 出店者数 100団体 ※参考実績 平成28年 来場者数15,000人 出店者数95団体 平成27年 来場者数14,000人 出店者数88団体 平成26年 来場者数14,000人 出店者数77団体		

7	地域ブランド化推進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>矢吹町産米等販路拡大推進協議会が主体となり神田行政区や大木代吉本店と連携し新酒づくりの事業に取り組みます。 また、道の駅やぶぎ地域協議会を中心に、地場産品のブランド化や商品開発に取り組みます。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	5月 三鷹の森フェスティバル 5月 酒米の田植え(新酒づくり) 9月 仮設道の駅オープン 随時 矢吹ブランド認証制度の検討 随時 商品開発の実施	10月～12月 仮設道の駅事業実施 10月頃 酒米稲刈り(新酒づくり) 12月 新酒発表会の開催 随時 矢吹ブランド認証制度の検討 随時 商品開発の実施 商品開発計画策定	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新酒づくりによる地域ブランド化の推進、ネーミングの公募決定</li> <li>・矢吹ブランド認証制度の導入</li> <li>・地場農産物を活用した商品開発計画策定</li> <li>・各種イベントにおける開発商品のサンプル販売</li> </ul>		

8	中心市街地復興・街づくり支援事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>町の玄関口であり、顔となる駅東口を中心とした地域において、「大正ロマンの館」を軸とした賑わい創出に取り組みます。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	随時 指定管理者との協議 随時 指定管理者と賑わい創出について協議 6月 イベントの実施	随時 指定管理者との協議	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>大正ロマンの館への来館者数10,000人を目指します。</p>		

9	矢吹産農産物PR事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	「やぶきぐるぐるノーカーズ」や東京農業大学と連携し、首都圏において矢吹町産野菜のPRイベントを実施します。 また三鷹市住民協議会と連携し各種イベントに参加しPRを行います。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月 新川中原イベント参加 5月 三鷹の森フェスティバル参加 5月 大沢イベント参加 7月 三鷹夏まつり参加	10月 連雀イベント参加 12月 東京農業大学と連携したイベント開催 随時 各種イベント参加	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	三鷹市を中心としたイベントの参加回数 8回以上 東京農業大学と連携したイベントの実施 来場者700名以上		

10	農業担い手育成総合支援事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	農業改善計画のフォローアップ、経営能力向上のための講演会等の開催、農業経営の法人化、法人経営への支援、地域営農の組織化支援等、担い手の育成、確保に向けた活動を支援します。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	地域連携推進員との協力により、認定農家、新規就農者への情報提供、意見集約を行います。 (随時)	認定農家等向けの講演会や先進地視察研修会を開催し新たな技術の習得や農業経営改善について推進します。	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	担い手の確保として、2名以上の新規就農者を新たに確保します。 3件以上の法人化設立の支援を行います。		

11	経営所得安定対策事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>平成30年度の米の改革を見据え、今後米の価格を安定させるためにも、国の施策である飼料用米等や大豆を推進し加入促進を図り、農業者の職安定を図ってまいります。</p> <p>また、平成30年度から廃止される、米の配分や、各種交付金等についても農家へ周知徹底を図ります。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<p>4月 収入減少影響緩和対策受付窓口設置</p> <p>5月～6月 経営所得安定対策の相談窓口の設置</p> <p>6月末 申請期限</p>	<p>10月～3月 国交付金の支払い</p> <p>制度改正の周知徹底</p>	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	経営所得安定対策加入者600名 (H28実績538名)		

12	有機・特別栽培農業推進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>食の安心安全を推進するため、有機栽培及び特別栽培農業について調査を行い農業の振興施策を推進します。</p> <p>東京農業大学の協力の基、カブトエビを活用した有機農法の確立を目指します。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<p>4月 東京農業大学との委託契約</p> <p>5月 善郷小学校・中畑小学校による大池圃場での田植え</p> <p>5月 カブトエビ調査</p>	<p>10月 稲刈り及び収穫祭</p>	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>善郷小学校5年生及び中畑小学校5年生の児童による田植え及び稲刈りを実践します。</p> <p>協力者 大桃美代子校長 東京農業大学 長島教授 東京農業大学 学生</p> <p>地権者 芳賀勝雄教頭</p> <p>前年については圃場内にカブトエビ専用プールを作成したことにより、カブトエビを確認できたため、引き続き専用プールにて管理します。</p>		



13	耕作放棄地解消事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>耕作放棄地の解消策として、農業委員会を中心に、まちづくり団体、行政区等の協力を得て、それぞれの状況に応じた対策を実施します。事業の実施については県南農林事務所や農業関係機関と連携し、国等の事業を活用しながら解消を図ります。</p> <p>また、耕作放棄地を解消して、花等の植栽で景観形成の向上を目指し、町民の憩いの場になるよう推進します。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	5月～ 実施地区の検討。関係団体との協議。	国や県の事業を活用し、農業者からの申請に基づき耕作放棄地解消事業の支援を行います。	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	農業者からの2件以上の耕作放棄地解消事業申請により、解消事業の実施を図ります。		

14	農地中間管理機構活用事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>農業の後継者不足や担い手不足により、本町でも耕作放棄地が増えていく現状であり、非常に重要な課題となっております。</p> <p>県は農地バンクとして農地の貸し借りをスムーズに行うため「福島県農地中間管理機構」を設立しました。そこで機構を仲介役として農地の貸し借りをさらに円滑に進め担い手への集積・集約化を図ります。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 重点地区策定</li> <li>・7～9月 説明会</li> <li>・8月 町広報誌掲載</li> </ul>	・12月 説明会	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>貸借の重点地区を策定し、地区説明会や意向調査を行います。</p> <p>農地の出し手、担い手を広報誌で募集し、重点地区の人・農地プランを策定する。担い手のエントリーを20人増やします。</p> <p>重点地区 境町、本郷町、大和内、舘沢</p>		

15	有害鳥獣対策事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	農作物に被害を及ぼす恐れがある有害鳥獣（カラス、カモ、カワウ等）に対する被害を防止するため、有害鳥獣捕獲隊に駆除の委託をし農作物の被害軽減を図ります。また、根宿地区の山林に巣食うサギによる農作物や生活環境被害を抑制するため、新技術（レーザーポインタ）等を活用します。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月・・・有害鳥獣捕獲隊への年間委託契約締結、サギの撃退（レーザーポインタ） 6月・・・田植え後 有害鳥獣駆除（カラス、カモ等） イノシシ被害等への電気柵検討	9月・・・稲刈り前 有害鳥獣駆除（カラス、カモ等） イノシシ等の電気柵検討	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	農作物被害に係る有害鳥獣の捕獲を行います。 前期6月中旬（田植え後） 後期9月下旬（稲刈り前） カラス50羽 カモ 50羽 カワウ20羽 根宿地区のサギ撃退 イノシシ対策		

16	水田農業構造改革対策事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	町の基幹産業は農業であり、特に稲作については主要な作物です。しかし、近年の米需給率低下により米価下落が進み、年々農業者の所得が低減している状況となっています。そこで米価下落を抑えるために、国の施策でもある新規需要米（飼料用米）を作付した農家へ町単独補助を行い、農業者の所得向上を図ります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月～6月末 経営所得安定対策受付 7月～ 現地確認および面積の確認	12月～出荷確認及び面積確認後町単独補助金交付	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	飼料用米 10a当たり5,000円の交付します。（面積に応じ案分） 国の施策である経営所得安定対策に稲作農家が加入していただけるよう関係機関と連携し加入促進を図ります。		

17	ため池整備事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>釜池整備事業：老朽化が進み堤体等の改修が必要とされるため池については、農業用水の安定確保及び地震・台風等の災害時の安定性を確保するため順次改修に取り組みます。          今年度は県営事業の採択を受けた、釜池（西長峰）について、実施設計が完了したことから、改修工事の施工を行います。</p> <p>ため池放射性物質対策事業：ため池の詳細調査の結果の結果、対策が必要なため池3か所を確定したため、今年度は実施設計を行い、H30年度以降に放射性物質の除去対策を行います。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	釜池整備事業（県営） 4月：利害地権者へ実施設計及び施工行程等の説明 9月：地域住民へ説明 随時：県協議・受益者協議  ため池放射性物質対策事業 5月～9月：実施設計業務委託 随時：受益者等協議	釜池整備事業（県営） 10月～3月：工事施工 随時：県協議・受益者協議  ため池放射性物質対策事業 10月～3月：実施設計業務委託 随時：受益者等協議	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	釜池整備（県営） ため池（釜池）整備に係る受益者等の調整 H29年度～H31年度 工事施工・完了  ため池放射性物質対策事業 H29年度 実施設計（子ハ清水池、長命池、入の沢池） H30年度 対策工実施		

18	森林環境税交付金事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>森林環境税交付金事業は、基本枠事業及び地域提案型重点枠事業の二つの柱で成り立っています。          基本枠事業については、身の回りの森林に関心を持ち森林の大切さを学ぶ目的から、町内各小学校及び各種団体において森林環境学習や森林環境整備を実施します。          また、地域提案型重点枠事業については、県産材を利用した施設の整備等の検討を行います。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	5月以降：森林環境学習の実施（町内各小学校）及び森林環境整備の実施（第二区自治会、こうすっぺ西側イメージアップ作戦） 7月以降：重点枠事業実施（中町ポケットパーク）	10月～12月：平成30年度以降の地域提案型重点枠事業の検討	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	引き続き森林環境学習の浸透や森林環境整備への住民参画を図ります。 また、重点枠においては、平成30年度実施へ向けた、福島県産材を利活用した施設等の整備について実施検討を図ります。		

19	日本型直接支払交付金事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>多面的機能支払交付金は、農業者等が共同で行う農業用施設等の保全活動、資源向上を図る景観形成活動等と農業用施設の長寿命化のための活動に対して支援を行います。</p> <p>環境保全型直接支払交付金は、農業者へ環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行います。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4～6月 実施状況報告確認 事業計画の認定 交付金申請</li> <li>・ 9月 補助金の交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10～12月 説明会・研修会</li> <li>・ 10月 中間指導</li> <li>・ 3月 後期指導</li> </ul>	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	H29年度の活動組織24組織から27組織を目標に地域へ出向き推進を強化します。		

20	ふるさと水と土保全事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>限戸川揚水機場周辺の美しい水辺景観を地域の憩いの場として活用すべく、三十三観音史跡公園の管理を手助けしている地域住民の活動と有機的連携を図り、揚水機場及びその周辺の農業施設等の多面的機能の推進を図るとともに地域の子供たちや散策者への利便性の向上に努めます。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>4月～5月：補助金交付申請</li> <li>6月～：事業実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>10月～事業実施、次期計画の検討・策定</li> <li>3月～実績確認</li> </ul>	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	第二区自治会と連携し、三十三観音史跡公園内等へ案内板を設置し、散策者の利便性を向上させるとともに、地域住民や児童等が農業体験などができる仕組みを検討します。		

21	農業振興地域整備計画策定事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	農用地の高度利用を促進し、優良農地を保全するために概ね10年間を目安に「農業振興地域整備計画書」を策定します。矢吹町では平成19年5月に総合見直しを完了し次回の総合見直しに向け、随時見直し及び農用地の動向調査を行います。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前期	後期	
	前回の総合見直しから概ね10年が経過したため本年度に総合見直しを実施することになり、町の方針を決定するため、関係機関との打ち合わせを行います。	町の方針を決定したのち、地域への説明会の開催、意見の聴取等を行い総合見直しを行います。	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	平成29年度中に総合見直しを概ね完了させます。		

22	ふくしま森林再生事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に行い、低下しつつある森林の公益的機能・多面的機能を回復させながら、森林内の放射性物質の低減を図り「ふくしまの森林」を再生させるとともに、森林整備の促進を図ります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前期	後期	
	6月～：第3地区年度別計画作成、同意等取得(中畑地区) 6月～：森林整備実施(堰の上地区ほか) 随時：地権者協議・説明会	～3月：年度別計画策定、森林整備実施・完了 随時：地権者協議・説明会	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	堰の上地区ほか(約60ha)森林整備完了。 第3地区(中畑地区)年度別計画書策定・同意取得業務完了		

23	道の駅推進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	地域振興の拠点、復興のシンボルとして道の駅を位置づけ、基本構想のコンセプト及び実施計画に基づき事業を推進します。また、仮設の道の駅オープンに向けての準備や、矢吹ブランド認証制度について地域を巻き込んだ事業展開を図ります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月～ 仮設道の駅の検討 9月 仮設道の駅オープン 随時 協議会、部会の開催 随時 矢吹ブランド認証制度の検討 随時 全国の道の駅事例調査、視察 随時 補助事業の調査 随時 地域商社設立準備	10月～12月 仮設道の駅事業実施 10月 測量調査契約 11月頃 現地測量調査の実施 随時 協議会、部会の開催 随時 視察 随時 開拓ロード整備	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現地測量調査の実施</li> <li>・ 矢吹ブランド認証制度の導入</li> <li>・ 仮設道の駅事業の実施</li> <li>・ 先進道の駅視察</li> <li>・ 地場農産物を活用した商品開発計画の策定</li> </ul>		

24	真夏の夜の鼓動事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	真夏の一大イベントとして、大池公園水上ステージを舞台に、町内外の太鼓団体の競演によるまつりを開催します。迫力ある太鼓の競演や大池公園の水面を幻想的に彩る灯籠等の演出により、大池公園と矢吹町のPRを行います。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月 役員会開催 5月 総会、実行委員会開催 随時 役員会、実行委員会開催 7月29日 開催	10月 役員会、実行委員会開催 3月 次年度へ向けての検証	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	来場者 5,000人以上 (H28 5,000人) 太鼓団体 9団体以上 (H28 10団体 ※25回の記念のため)		

25	地域観光再発見事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>町のゆるキャラである「やぶきじくん」をはじめ、平成25年度から始動したご当地アイドル「しゅんらんガールズ」など、矢吹ブランドの創出や「食」「文化」などの特徴を生かし、町の魅力を町内外へPRするための取り組みを行います。</p> <p>また、9月末まで「コードフォー7」が実施されるため、大池公園や史跡の名所、ゴルフ場、やぶきフロンティア祭り、やぶき夏まつり、真夏の夜の鼓動などのイベントに来ていただけるよう積極的にPRし観光客数の増加を目指します。</p> <p>さらに、昨年度から引き続き、やぶき観光案内所やまちPR係等で季節の移り変わりや観光情報、イベント情報をSNS等を活用し、矢吹町の魅力を発信します。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月 しゅんらん春まつり 7月 真夏の夜の鼓動 8月 やぶき夏まつり 9月 やぶきフロンティア祭り 随時 FBページ及びHPの更新、PR素材の収集(観光資源調査) 随時 イベントの参加、周知	随時 FBページ及びHPの更新、PR素材の収集(観光資源調査) 随時 イベントの参加、周知	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客入れ込み数 135,000人以上</li> <li>・レンタサイクル事業利用者数 100人以上</li> <li>・HPアクセス数の増加</li> <li>・FBページアクセス数の増加</li> </ul>		

26	ふるさと思いやり基金事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>「さわやかな田園のまち・やぶき」のふるさとづくりに賛同する人々の寄附金を財源として、多様な人々の参加による個性豊かな活力のあるまちづくりを推進します。</p> <p>また矢吹町のPR、来町者の増加につながるよう返礼品の検討、寄附者増加のための周知を行い、有効な自主財源となるよう事業の展開を図ります。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	6月 返礼品の検討 8月 返礼品の決定、新たなカタログの作成 随時 ホームページ等による周知、PR	随時 ホームページ等による周知、PR	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	目標寄附件数 500件 (H28年 393件) 目標寄附金額 15,000,000円 (H28 11,415,000円)		

27	タウンプロモーション事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	日本三大開拓地としてブランド化を図り、開拓というキーワードのもと、タウンプロモーション計画に沿って矢吹町のPRを実施します。また、名誉町民の中畑清氏や町出身の演歌歌手、津吹みゆさんの協力をいただき、メディアを巻き込んだ町のPRを実施します。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	5月 光南高校連携広報記事作成 9月 フロンティア祭りにおいて、フロンティア・スピリッツ大賞の実施 随時 矢吹の季節素材集め	10月 情報誌第3版の作成 随時 facebook更新	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 矢吹の季節素材集の作成</li> <li>・ 情報誌第3版の作成</li> <li>・ facebookページの「いいね！」の数を500獲得</li> </ul>		

28	矢吹駅施設管理事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	駅コミュニティプラザ施設を指定管理者に委託し、施設機能の適正な運営と効率的な維持管理に努めます。今年度は指定管理最終年度のため、指定管理事業の検証を行います。また、豊夢基地と観光案内所を含めた運営協議を随時行い、町PRの拠点、交流づくりとして利活用の推進を図ります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	4月 指定管理業務の年度協定の締結及び運営協議(前期) 7月 指定管理事業の検証 毎月 指定管理状況報告及び運営協議	10月 指定管理業務の運営協議(後期) 毎月 指定管理状況報告及び運営協議	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	指定管理事業の検証、観光案内所を含めた今後の方針決定 駅舎を利用したイベント 2回以上 駅舎における施設破損事件 0件		



29	矢吹産米等販路拡大推進事業	産業振興課	総合計画・復興計画関連事業
事業の概要・実施方針	<p>今年度は従来のPR事業のほか、販路拡大推進協議会が事業主体となり、新酒づくり事業に取り組みます。 また、町農産物や特産品のPRとして観光案内所と連携し、インターネット販売を実施します。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	5月 酒米田植え 6月 ネット販売運用開始	10月 酒米稲刈り 12月 新酒発表会 1月以降 新酒の販売、PR	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	新酒づくり事業の実施、新酒発表会と販売の実施 インターネット販売の運営、管理 販売目標50万円		

30	事務処理のマニュアル化の推進	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・実施方針	<p>多岐多様に渡る各種事務事業において、遅滞やミスを防ぎ精度確保を図り、住民満足度を向上させるため、継続的なマニュアル整備に努めます。 なお、数人でチェックを行うなどの体制も整備します。</p>		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何をを行うか)		
	前 期	後 期	
	適宜 マニュアル作成 適宜 課内会議	適宜 マニュアル作成 適宜 課内会議	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	全事務事業に関するマニュアルを整備し、職員への活用徹底及び情報共有を図り、住民サービスの向上を目指します。		

31	地方創生の展開	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・ 実施方針	矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、基本目標である「矢吹町における安定した雇用を創出する」「矢吹町への交流・流入人口を増やす」の実現を目指すため、地方創生に係る交付金を活用し取り組みます。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	地方創生推進交付金事業の展開	地方創生推進交付金事業の展開	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	地方創生の展開		

32	内部管理経費の節減	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・ 実施方針	節電、印刷用紙の再生紙及び裏面利用による歳出削減に努めます。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	5月 全年度諸経費分析及び削減方法の策定 6月～削減方法の職員周知 適宜 課内会議 適宜 電気製品等の節電	前期継続	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	諸経費等前年比5%削減を目指します。		

33	公共施設の長寿命化・統廃合の推進	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・ 実施方針	「大正ロマンの館」について、設備等の安全点検を定期的を実施し、来場者が安心安全に利用できるよう努めます。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	毎月 全設備等の安全点検実施	前期継続	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	来場者において怪我事故ゼロを目指します。		

34	事務事業の民間委託の推進	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・ 実施方針	「民間委託に関する基本方針」に基づき、事務事業の外部委託を常に念頭に置き、効率的効果的な行政運営を心がけ、経費削減と投資効果による財政の健全化と住民満足度の向上を図ります。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	適宜 指定管理・委託契約 適宜 各契約の見直し 適宜 課内会議を行い既存事務事業の外部委託等検討を行います。	前期継続	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	事務事業の拡充及び職員残業の前年比5%削減を目指します。		

35	時間外勤務命令の抑制	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・ 実施方針	退庁時間17時15分を徹底し、残業の必要があるときは所属係長と協議の上「命令」によるものとし、時間外勤務の管理を行い、経費削減に努めます。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	適宜 課内会議 適宜 事務事業の検証	前期継続	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	残業時間の前年度比5%削減を目指します。		

36	行政情報の積極的な発信	産業振興課	行財政改革実行計画
事業の概要・ 実施方針	ホームページを活用し動画やSNS、観光案内所と連携しながら積極的な情報発信を行います。また、情報誌の作成のほか既存の情報誌のPRを行います。		
進行管理	実施方法・手段・スケジュール等(いつ・何を行うか)		
	前 期	後 期	
	情報誌のPR ホームページやSNSの活用	情報誌のPR ホームページやSNSの活用	
目標管理	成果目標・数値目標等		
	ホームページ・アプリの本格運用 facebookの積極活用		